



### 道路交通の歴史

■ヨーロッパ

- 紀元前2500年頃に馬、ロバ、牛などによる荷車が普及 → ローマ帝国時代 鉄製タイヤの誕生→馬車の普及→石畳の道→自動車の誕生 1886年
- 日本
- 徒歩（庶民）馬（富裕層）馬（武士）→ 馬車・自動車（明治初期）

明治皇太子への贈り物として初めて日本に上陸した。

日本初の自動車事故を起こす  
明治33年 \* 出典 毎日新聞2018年4月3日

### ■わが国の自動車事故件数

- 死亡事故 3,215人 \* 警察庁2019年
- 人身事故 381,002件 \* 警察庁2019年 } 1,327,148人
- 物損事故 1,200,000件? (自動車開発者たちの噂) 人身事故の3倍か。保険払い出し件数は年間約700~800万件。  
\* 損保協会資料2009年

### ■世界の死因ランキング \* WHO発表2016年

- 第1位 虚血性心疾患 950万人
- 第2位 脳卒中 600万人
- 第3位 慢性閉そく性肺疾患
- 第4位 下気道感染症 300万人
- 第5位 アルツハイマーその他認知症 200万人
- 第6位 気管、気管支、肺がん 190万人
- 第7位 糖尿病 180万人
- 第8位 交通事故 140万人
- 第9位 下病性疾患 130万人
- 第10位 結核 120万人

## なぜ自動車は世界中で走り続けるのか？

私たちすべてのドライバーは、他人の命よりも自分の利便性や自由を選択し、ハンドルを握ります。

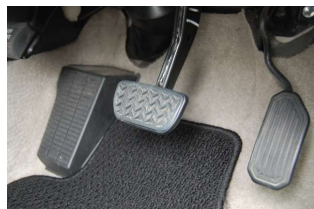
- 保険
- 交通ルール
- 運転への自信

## ペダルの踏み間違い事故とあおり運転

10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代
204	842	466	509	475	678	810	418	29

\*H30 イタルダ発表 数値は件数/年

報道やネット情報に流されない「自分で考える姿勢」



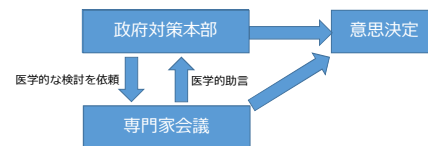
20世紀は「独裁者」が社会を破壊した時代。  
21世紀は「個人の意思」が社会を破壊する時代。

自分にとって「良かれ」と考え、行った行動が、結果として自分の首を絞める。

## サイエンスと社会の関係

- 安全な自動車運転に必要な認知機能の基準が医学的に判明したら世の中はどうか？
- ELSI (倫理的・法制度的・社会的課題)  
コンピュータ工学・脳科学・遺伝子工学など

- 新型コロナウイルス感染症対策専門家会議の事例



- 緊急事態宣言の解除の医学的条件：  
人口10万人あたり直近1週間の新規感染者が0.5人以下。
- 政府が決定した解除条件：  
人口10万人あたり直近1週間の新規感染者が1.0人以下を目安。



## 21世紀の医療

- AIからIA (知能増強・Intelligence amplificatoin) へ
- 「健康の回復」から「健康以上の獲得」
- すでに始まっている取り組み

特にリハビリテーション領域が深くかかわってくる



From CNN NEWS 2020/01/09



## まとめ

- 良心=知る=考える conscience
- 社会の雰囲気や個人の感情に惑わされない冷静さ
- サイエンスと社会の関係

「人間の能力」についての取組みは、「对患者」だけではなく、「あなた自身」の問題であり、また未来社会へも影響を及ぼす。